

社会保険労務士法人 D・プロデュースが毎月お送りしています
ブログも更新中！是非ご覧ください！ <http://d-produce.net/>

D プロニュース

ご連絡先：〒231-0012 横浜市中区相生町 1 - 1 5 第二東商ビル 5 F
電話：045-226-5482 F A X：045-226-5483
e-mail：info@d-produce.com
ホームページ：<http://www.d-produce.com/>



いまどきの「課長」の実態は？

一部上場企業の課長 428 人の回答

産業能率大学がインターネット調査会社を通じて「上場企業の課長を取り巻く状況に関する調査」を今年 9 月に行い、その結果が公表されました。

従業員が 100 人以上の上場企業に勤務し、部下が 1 人以上いる「課長」428 人が、「昇任前の経験」、「現在の悩み」、「上司の支援」、「今後のキャリア」などについて回答しています。

多くはマネージャー兼プレイヤー

まず、「プレイヤーとしての仕事の割合」についての質問では、「0%」と答えた人はわずか 1.4%でした。プレイヤーとしての活動割合が半分より多い人は 4 割を超えています。

プレイングマネージャー化しているケースが多く、多くの課長がプレイヤーとしての活動を兼務していることがわかります。この傾向は、中小企業においてはなおさら強くなるでしょう。

仕事上の悩みとメンタルヘルス

次に、「仕事上の悩みを相談できる人がいるかどうか」との質問には、「いる」と答えた人が 50.2%、「いない」と答えた人が 49.8%と、ほぼ半数に分かれました。

「いる」と答えた人に対して「どのような相談者がいるのか」を尋ねたところ、「会社の上司」、「会社の同僚」が多数でした。

また、「自分自身のメンタルヘルスに不安を感じたことがあるか」との質問には、「ある」と答えた人が 43.7%、「ない」と答えた人が 56.3%でした。その原因としては、「上司との人間関係」、「成果創出へのプレッシャー」、「仕事の内容」などが多くありました。自分の身近に相談できる人がいるかどうか、不安の有無に関係しているものと思われます。

やり甲斐をもって仕事に取り組めるか

自分が「課長としてイキイキと働いていると思うか」との質問では、「どちらかといえばイキイキと働いている」が 54.9%、「イキイキと働いている」が 6.8%でした。逆に言えば、イキイキと働いていない人が約 4 割もいるということになります。

これら課長クラスにある方たちが、イキイキとやり甲斐をもって仕事に取り組める環境をつくるのが会社の仕事でもあり、それらができる会社はきっと成果を残している会社ということになるでしょう。

賃金収入は減少傾向、4 人に 1 人は「失業の不安」を抱えている

労働者にとっては厳しい状況

連合総研では、10 月に労働者を対象に実施した「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート」(勤労者短観)の結果を発表しました。「景気や勤め先の経営状況」、「賃金収入と

失業不安」などの項目について調査しており、労働者の厳しい状況がうかがえる結果となっています。

賃金収入は減少傾向に

1年前と比較した賃金収入の増減については、「減った」(32.9%)と回答した人が3割を超えており、前回調査(34.6%)と比べてもほとんど改善が見られませんでした。

また、今後1年の賃金収入見込みについて「減ると思う」(25.5%)と回答した人が前回調査(21.8%)を上回り、「増えると思う」(16.9%)と回答した人は前回調査(21.0%)から減少しています。悲観的な見方をする人の割合が高まっています。

4人に1人が「失業の不安」

次に、「今後1年間の失業の不安」について「感じる」と回答した人は25.0%で、過去最高を記録した昨年同月(28.3%)よりは低下しましたが、一昨年の同月調査(23.8%)を上回っています。

また、非正社員(男性53.6%、女性34.8%)や20代(32.9%)が感じる失業の不安は、相対的に高くなっています。

所定外労働、賃金不払い残業

このアンケート調査では、他にも「所定外労働の状況」「賃金不払い残業の状況」などについての調査を行っており、非常に興味深いものとなっていますので、連合総研のホームページ

(<http://www.rengo-soken.or.jp/webpage/21.html>)を覗いてみてください。

新卒者の採用活動開始時期を見直しの動き

相次ぐ見直しの表明

9月下旬、大手商社7社は、企業における大卒者の採用活動時期を遅らせるよう、日本

経団連に呼びかける考えを表明しました。

「就職活動の長期化が学業の妨げになっている」との意見が強いためであり、商社自身の採用試験の時期も見直していくとしています。

また、10月初旬には、社団法人日本貿易会(貿易商社の業界団体)が、新卒者の採用活動に関して、2013年度入社対象の新卒者から、採用スケジュールを遅らせるべく具体的な検討を始め、また、各産業界が協調して見直しを実現できるよう日本経団連などの関係団体に働きかけると発表しました。

採用側企業の発表を受けて

これら採用側企業の動きを受けて、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣は、連名で245の主要経済団体、業界団体に向けた、早期の採用選考活動の抑制などを要請する文書を送りました。この要請文の中では各団体の努力を求めています。

また、リクルートや毎日コミュニケーションなど就職情報会社10社で構成する「日本就職情報出版懇話会」でも、就職活動の早期化への批判に対応し、新卒者の採用情報を提供するサイトの開設時期について、例年から1カ月以上遅らせて、来年は11月1日以降にすると発表しました。

これまでの就活の流れに変化

これまでの流れとしては、まず、大学3年生の8月ごろに「インターンシップ」を行う企業が出てきます。そして、10~11月にかけて「就職情報サイト」が開設され、「業界別セミナー」や「就活フェア」なども開かれます。

そして年が明けた1月ごろから「会社説明会」の開催が徐々に増えてきて、2月ごろには「エントリーシート」の提出なども始まります。

4年生になると「採用面接・選考」が始まり、5月ごろには「内々定」が開始、6月には中小企業の採用活動も本格化してきます。

来年以降は、採用側企業や国側の対応を受けて、これらのスケジュールが遅くなって

いくものと思われませんが、企業としては、じっくりと良い人材を見極め、自社にとって必要な人材を確保することが必要なことには変わりはないでしょう。

義務化されるか？

企業による「受動喫煙防止対策」

検討会が報告書を発表

厚生労働省では、昨年7月に「職場における受動喫煙防止対策に関する検討会」を立ち上げ、今年5月にその検討会が報告書をまとめました。今後、この報告書をベースに、労働安全衛生法の改正案が国会で審議される予定となっています。

この改正案が成立した場合、飲食業・サービス業などにとっては大きな負担が強いられることとなりそうです。

これまでの対策の流れ

職場における受動喫煙防止対策については、平成4年以降、「労働安全衛生法」に定められた快適職場形成の一環として進められました。その後、平成15年に「健康増進法」が施行され、平成17年2月に「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」が発効するなど、受動喫煙を取り巻く環境は大きく変化しています。

また、健康志向の強まりや受動喫煙の有害性に関する知識の普及などから、職場における受動喫煙に対する労働者の意識も高まってきています。

受動喫煙防止を事業主の「義務」へ

このような環境の変化から、現在、企業に対して強く「受動喫煙防止対策」を求める流れになっています。

そして、職場における受動喫煙防止について、従来の「快適職場形成のため」から「労働者の健康障害防止のため」という観点に切り替え、職場における受動喫煙防止を事業主の「義務(罰則付き)」とする法改正が

予定されているのです。

今後の審議状況に注目

今後のあり方として、事務所、工場等では「全面禁煙」「喫煙室を設けそれ以外を禁煙」とすることが求められ、飲食店、ホテル・旅館等においては、原則として「全面禁煙」「喫煙室を設けそれ以外を禁煙」とすることが必要とされ、それが困難な場合は喫煙区域の割合を少なくし、喫煙区域からの煙の漏れを防ぎ、換気等を行うように求められる方向です。

多くの企業に影響を与えることとなりそのような法改正のため、今後の改正案の審議状況が気になるところです。

編集後記(益子)

いよいよ年末！！この季節は仕事もプライベートも慌ただしくなりますね。

会社によっては、忘年会などで職場の仲間や上司・部下とお酒を飲む機会があると思います。

ある調査によると、職場の人とお酒を飲むときの1回あたりの平均予算は4,401円(前年比129円マイナス)だそうです。月平均回数は1.5回だそうです。ちなみに私はもう少し回数は多いです。。

また、最近は上司が部下とお酒を飲みに行っても、「割り勘」とするケースが増えていますが、飲み会の際に上司が部下におごる金額の平均は1回あたり7,000円くらいだそうです。エリア別でみると、1位は北海道で8,542円、2位は北陸で7,400円、3位は東北で7,221円となっていて、寒い地域で働いている人のほうが太っ腹なのでしょうが？

今も昔も「飲み会」は社内のコミュニケーションを図るうえで、有効な手段の1つですね。お酒が好きな私は、お財布と体調と相談をしながら、この季節を楽しんでいます。寒い地域出身の先輩方からの誘いを待っています。